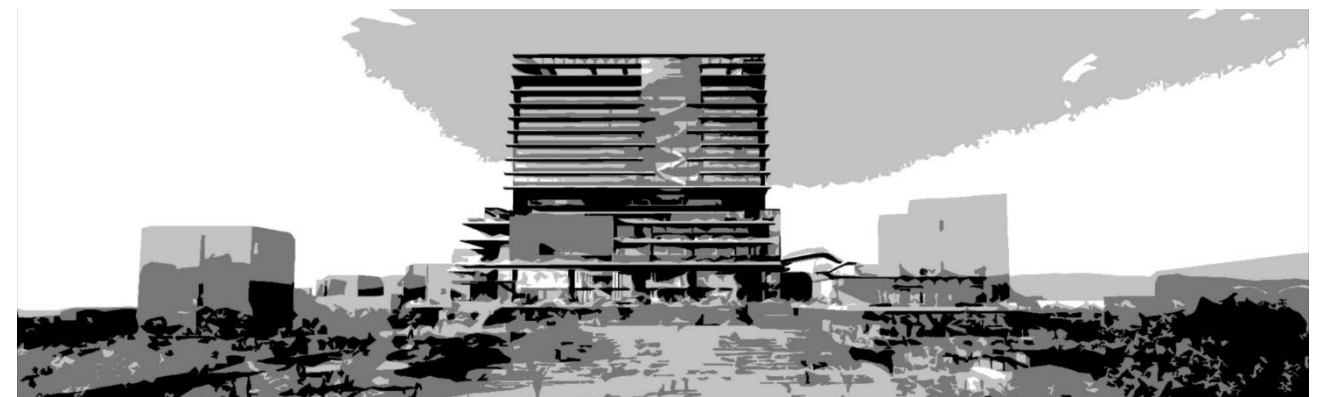




岡山市新庁舎 基本設計（素案） 令和3（2021）年 1月



外観イメージ（北西側から）
※現時点でのイメージであり、外構を含め色彩やデザイン等は今後の検討により変更することがあります。

1. 計画概要	Architecture
1-1. 基本的な考え方	A-1
1-2. 設計コンセプト	A-2
1-3. 敷地・建築概要・スケジュール	A-3
2. 建築計画	Architecture
2-1. 動線計画・施設構成	A-4
2-2. 各階計画	A-5~11
2-3. 外装・内装計画	A-12,13
2-4. ランドスケープデザイン計画	A-14
2-5. 防災計画	A-15
2-6. 環境計画	A-16
2-7. セキュリティー計画	A-17
3. 構造計画	Structure
3-1. 基本方針	S-1
3-2. 構造形式	S-2
4. 電気設備計画	Electric
4-1. 基本方針	E-1
4-2. 電気設備概要	E-1
5. 機械設備計画	Mechanic
5-1. 基本方針	M-1
5-2. 機械設備概要	M-1

1. 計画概要

1-1. 基本的な考え方

新庁舎は、「本庁舎整備等基本構想」における5つの基本理念と、「本庁舎等整備基本計画」における5つの整備方針を踏まえ計画します。

<庁舎整備の基本理念>

- 1 市民に親しまれるおもてなしのある庁舎
～ユニバーサルデザイン、市民交流の場の創出
- 2 安全・安心、災害に強い庁舎
～防災拠点の整備
- 3 将来の変化に対応できる機能的・効率的な庁舎
～行政サービスの向上と事務の効率化
- 4 自治体の顔・まちづくりの拠点となる庁舎
- 5 環境に配慮した庁舎

<機能別整備方針>

1 市民窓口機能

- わかりやすく利用しやすい窓口
- お待たせしない窓口
- ICT（情報通信技術）を活用したスマート窓口

2 交流・協働機能

- 市民に親しまれる庁舎
- 人と人、人とまちをつなげる庁舎

3 執務機能

- 機能的な執務空間
- コミュニケーションが活性化するレイアウト
- だれもが働きやすく、快適な執務環境
- 将来の変化にも柔軟に対応できるフロアデザイン

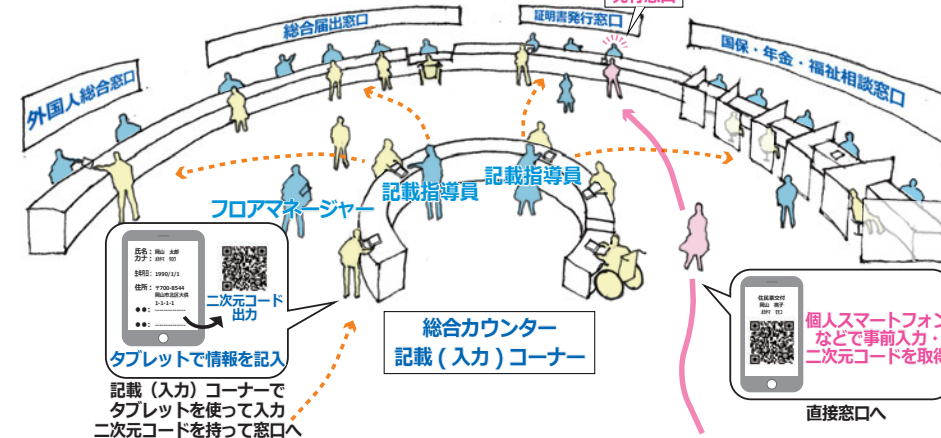
4 防災拠点機能

- 災害対応の司令塔となる防災拠点機能の充実
- 円滑な災害対応ができる空間構成
- 防災拠点としての耐震安全性と業務継続性の確保

5 周辺施設・まちづくり

- だれもがアクセスしやすい庁舎
- 市民が日頃から憩い、交流の場となる公園・広場
- まちのシンボルとして、市民が誇れる自治体の顔となる庁舎

1. 市民保険年金課の窓口イメージ



2. 交流・協働機能



5. まちのシンボルとなる庁舎のイメージ（北方面から）



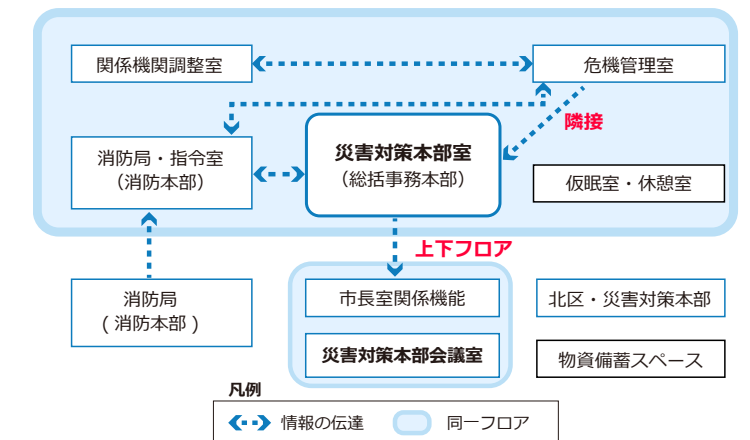
5. 交流の場となる公園・広場のイメージ



3. 執務機能



4. 防災拠点の構成イメージ



1-2. 設計コンセプト

「人」が集まり、「まち」と繋がり、「歴史」を重ねる「丘のような庁舎」



庁舎イメージ（北西側から）

1 岡山駅～市役所筋～大供交差点 ～新大供公園・市民広場・新庁舎 「人」が集まり、「まち」と繋がる立体回遊広場を持つ庁舎

- ・「人・空間・機能」の相互作用を誘発する立体回遊広場
新大供公園・市民ひろば（段々ひろば・大屋根ひろば）等様々なスケールの広場は、庁舎機能（市民・議会・行政）・利便施設・駐車場と結びついた立体回遊広場となり、「人・空間・機能」の相互作用が生まれる魅力的な庁舎を実現します。
- ・まちをつなぎ、賑わいを創出する利便施設
新大供公園や段々ひろばに面し、東西の街路からもアプローチが可能な利便施設は、人が集い、活気のあるまちの賑わいを庁舎（市民ホールや大屋根ひろば）へ誘導し、回遊性を高める役割を果たします。
- ・新大供公園を介して庁舎とまちをつなぎ、様々な活動・人の流れを受けとめる受け皿
新大供公園、市民ひろば、庁舎のコラボレーション機能をひな壇状に連続させ、様々な特徴を持つ場を提供することで、市民の様々な活動を受け入れます。

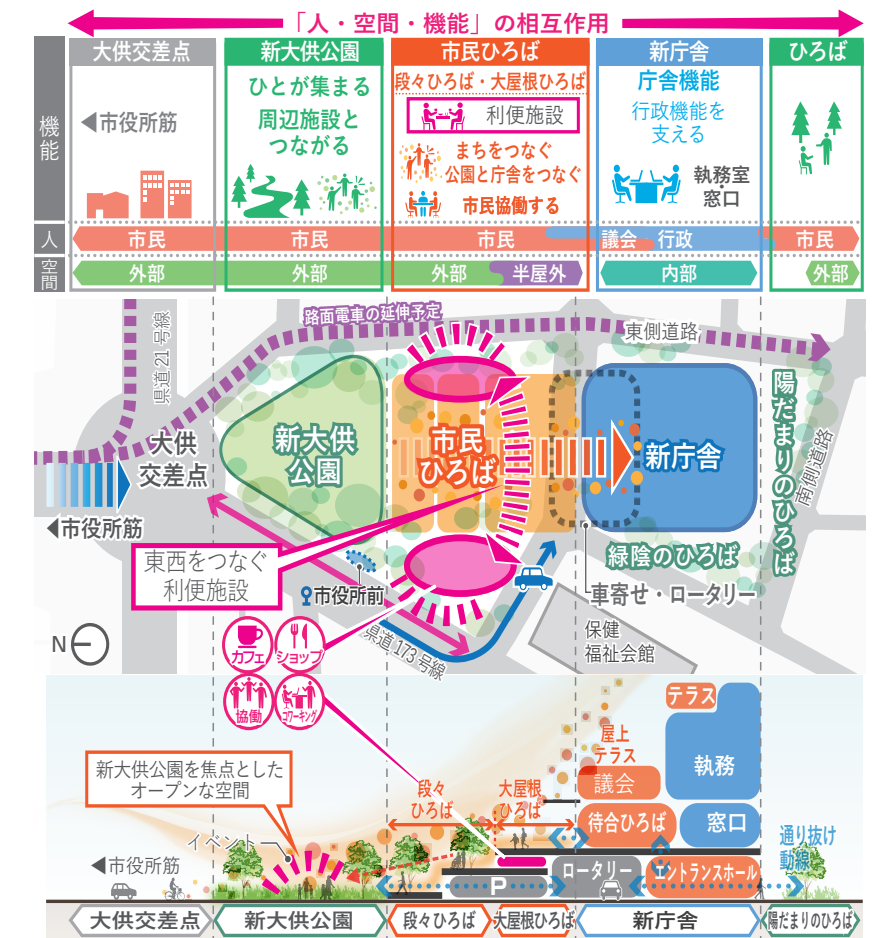
2 「緑 & 庁舎の活動（市民・議会・行政）」がシンボルとなる庁舎を 市役所筋の正面に配置

- ・庁舎の活動が緑の中に表出する景観
敷地北側に、緑豊かな市民ひろば（段々ひろば・大屋根ひろば）を配置するとともに、庁舎北面に議場やワークラウンジ、展望テラス等を配置し、様々な活動が市役所筋の正面に重層的に表出する景観を創出します。
- ・市役所筋に空が広がる中層庁舎
庁舎の高さを極力抑え、市役所筋から青空への抜けをつくる景観とします。また、庁舎外壁を傾斜させることで、市役所筋からの視線や風を受け流すイメージで快適な環境形成を図ります。

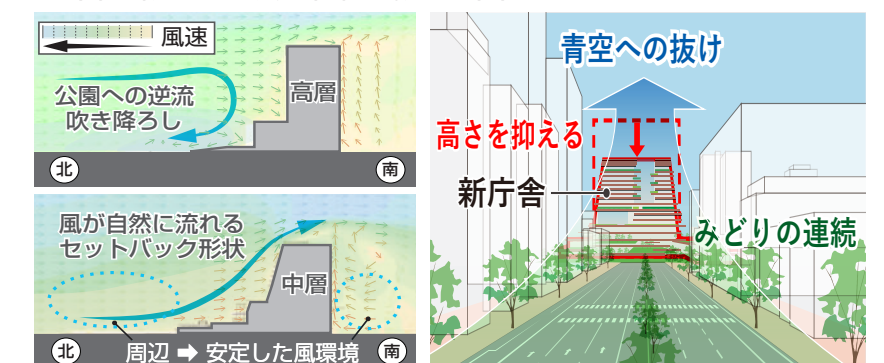
3 烏城公園・岡山城天守閣と対を成す 空間構成・デザインと視点場の形成

- ・烏城公園に「見立て」た空間構成
新大供公園と市民ひろば（段々ひろば・大屋根ひろば）の構成は、岡山城の一二三の段と呼ばれる本丸の構成をモチーフとします。
- ・岡山らしさ
外観は岡山城の屋根の重層性をモチーフに、底が重層するデザインとし、城の色彩や地元産材を取り入れたデザインとします。
- ・公園から中心市街地までスケールの異なるまちを見渡せる立体ひろば
庁舎と一体になった屋内外の高低差をもつ“ひろば”を生み出し、それぞれの視点場から周辺市街地の様々な表情を楽しめるように計画します。

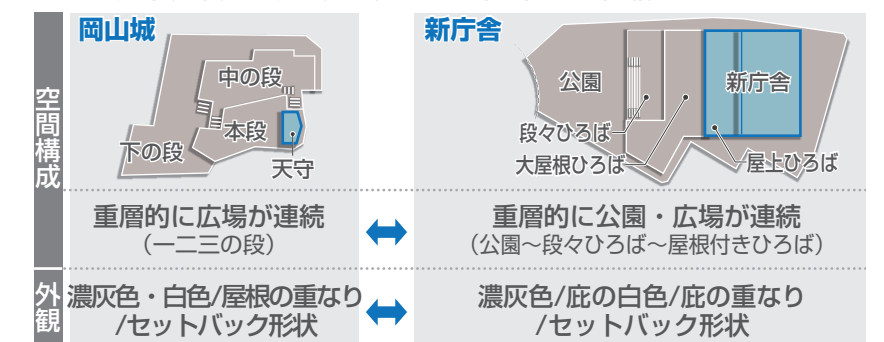
1 「人・空間・機能」の繋がりと相互作用



2 市役所筋からの風や視線が抜ける形状



3 烏城公園・岡山城天守と対を成す新庁舎の空間構成・デザイン



1-3. 敷地・建築概要・スケジュール

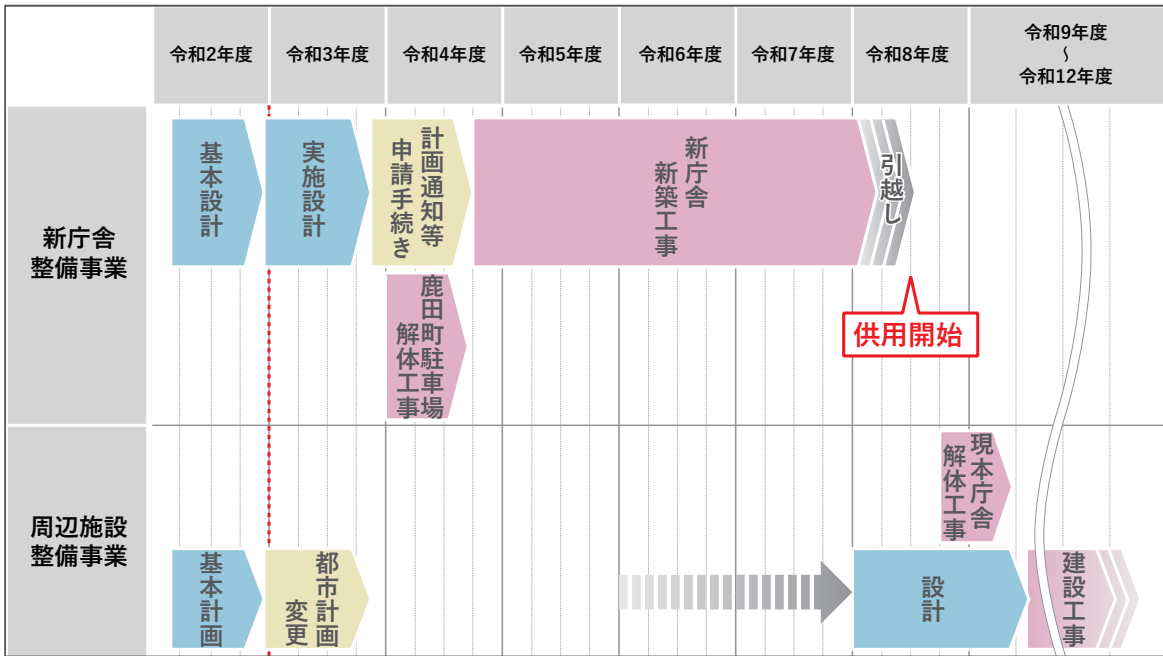
敷地概要

計画地	：岡山市北区大供一丁目 1 番 1 号 他
用途地域	：商業地域
防火指定	：防火地域 / 準防火地域
敷地面積	：5,997 ㎡ / 7,928 ㎡ 合計：約 14,000 ㎡
指定容積率	：500% / 400% 加重平均：443%
指定建ぺい率	：80% ⇒ 90% (角地：10%緩和)
周辺道路等	北側：新大供公園（整備予定） 東側：市道現況幅員 15 m 南側：市道現況幅員 6m（拡幅予定） 西側：市道現況幅員 11m（拡幅予定） 県道（173 号線）現況幅員 36m

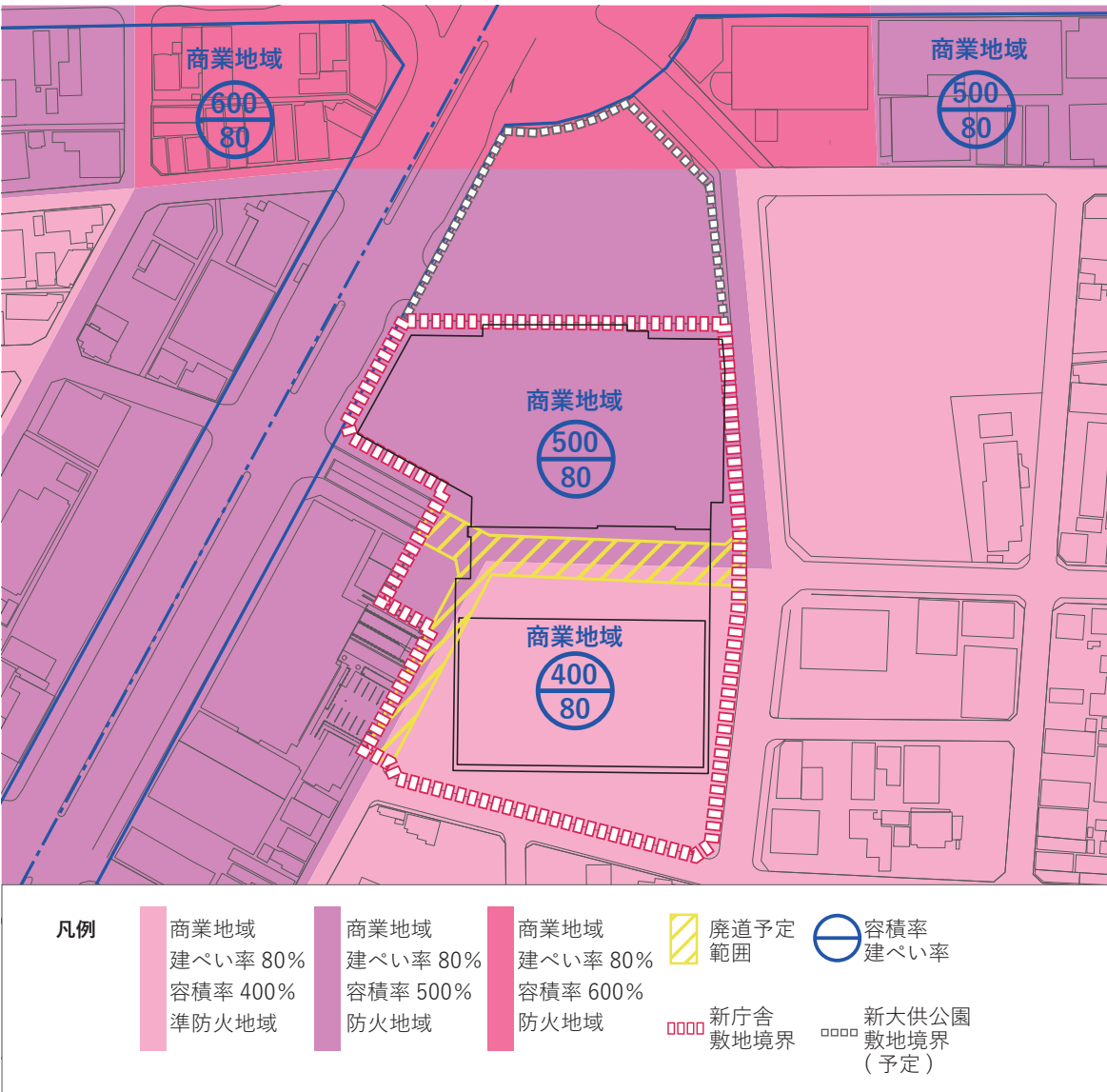
建築概要

主要用途	：庁舎
構造	：鉄骨造（一部、鉄骨鉄筋コンクリート造 および鉄筋コンクリート造） 中間免震＋制振構造
階 数	：地上 17 階（中 2 階を含む） 地下 2 階
最高高さ	：約 87 m
建築面積	：約 5,000 ㎡（建蔽率 約 36%）
延べ面積	：約 56,300 ㎡
容積対象面積	：約 50,000 ㎡（容積率 約 360%）
駐車場	：地下駐車場 128 台 大型車用駐車場 4 台 搬入用駐車場 26 台
駐輪場	：駐輪場 122 台

全体スケジュール（予定）



敷地周辺の状況



用途地域図